

報 告

第33回医学情報サービス研究大会 参加記

畑 美之

2016年7月2～3日に長崎で開催された第33回医学情報サービス研究大会(MIS33)に参加しました。会場は長崎市立図書館で、公共図書館を会場に開催されるのは初めてのことです。

会場は参加者149名をのみこみぎっしりでしたが、ハタが飾ってあったりしてなかなかの雰囲気でした(図1)。



図1 会場内

記念講演は、長崎市歴史民俗資料館の元館長が「本邦初の洋食屋」という題で講演されました。長崎出自の草野丈吉氏の卓越した技術と経歴や時代背景について、郷土愛にあふれたお話をうかがいました。

1日目の参加者企画での「EBMワークショップ：論文を効率よく読んでEBM実践しよう」に参加しました。普段の業務では、論文を取り寄せたり購入タイトルのダウンロードの方法を案内したりしていますが、論文の内容を私が吟味できると思っていませんでした。しかし、始まりますと経験豊富な司書の方々のお導きや、初心者にもわかりやすい丁寧な説明のおかげで、

ほんの少し興味がわきました。

2日目は当協議会の事務局長の増田氏が「近畿病院図書室協議会共同リポジトリ“KINTORE”—構築から公開へ—」について発表されました。病院図書館ネットワークとしていち早くリポジトリを始めた活動内容を熱心に報告していただきました。

ポスターセッションは今回3題のみでしたが、長崎大学の松村氏の「武藤文庫の古医書」について調査されていたのが印象に残りました。第30回の沖縄大会でも松村氏のご発表もうかがっており、大会前から楽しみにしておりました。幸いご本人ともお話しできました。「こういった古医書もデジタルになるといいね」と思いました。

長崎は25年以上前に一度旅行したことがありましたが全く覚えておらず、宿泊先と会場の周辺のみを少し歩きました。

眼鏡橋の近くのカステラ屋さんなどおいしいものや坂道の続く道、時折さあっとふる雨などに、ほんの少し長崎の雰囲気を身に染み込ませられたかなと思いました。

さあ来年のMISは大阪枚方大会です(図2)。

皆さまもぜひ参加いただき、一緒に活動していただけたらと思います。



図2 枚方大会アピールTシャツ